

# コミュニティ静岡

あなたのまちの  
コミュニティ活動情報誌

2014  
**4**月  
No.134

## 和気あいあいの手作り演芸で健康長寿 川根さわやか有志会（島田市）



くす玉で20周年のお祝い、皆様に感謝



スコップギター



椅子に座った踊りの披露



しよ、しよ、証城寺♪衣装は手作り

▼去る1月19日、島田市川根地区で「第20回高齢者手作り演芸お楽しみ会」が開催され、地域住民約500人が演芸を楽しんだ。

主催する「川根さわやか有志会」は川根地区の高齢者64人で構成され、月2回60代から最高年齢96歳の幅広い年齢層が物忘れ防止と健康管理、親睦を図っている。

▼高齢者は足が痛い、腰が痛い、が常であるが、椅子に座りながら踊るなど、全員が参加出来るように皆で相談し工夫を重ねている。「格式、形式にとらわれない」、これが「手作り演芸」と名付けた理由でもある。年1回の発表の場であるお楽しみ会は今年で20回を迎えた。20年続いた

秘訣は「身体を動かすことが楽しいのはもちろんだが、仲間と話をし、笑い合うことは頭の体操にもつながる。それと、楽しくてやめるにやめられない雰囲気かしら（笑）」と小長谷代表。

▼地域に溶け込みお馴染みになったお楽しみ会には、地区の有志や他の活動団体なども協力し、会場を盛り上げてくれる。会では、デイサービスなどを訪問し、ボランティア活動も行っている。

◇代表：小長谷しげさん（問合せ・0547-53-2792）

【情報提供・森下文子】

## Contents No.134

- 各地の活動 ●島田市……………1
- クローズアップ ●河津に根ざした若い力（河津町）、専門委員コラム…2～3
- 各地の活動 ●東伊豆町・伊豆の国市・島田市・菊川市・磐田市…4～5
- 地域訪問記 ●高齢者サロン1日体験記（掛川市）……………6
- コミねっとから ●キラリッ！コミねっと……………7
- コミ推協から ●コミュニティ・フォーラム2014を開催しました…………7
- コミュニティカレッジ、活動集団育成事業のお知らせ…8



クローズアップ

河津に根ざした若い力

河津町商工会 青年部 (河津町)

伊豆 河津町といえば、青い海、バガテル公園、みかん、温泉、そしてなんといっても早咲きの河津桜と菜の花の風景を思い浮かべる、自然の恵み豊かな町である。



河津桜祭りは、毎年2月上旬～3月上旬まで開催

地域活性化ならお任せ！商工会青年部

昭和40年代、桜並木があったら、みんなが喜ぶだろうと、河津川の土手に商工会青年部が植えたのが始まりだ。紆余曲折はあったが、今では多くの観光客が訪れ町の経済を潤している。現在も青年部員は桜の剪定や募金など保全活動を続けている。

過去には、河津川にかかる高さ7メートルの橋から川へ飛び込む子どもたちの遊びを、地元の河童の民話と絡めて名付け、イベントに仕立てた「レッツゴー・カップパ」は、ネットで話題が広がり各地から大人を含め多くの人が集まり、TVや新聞などで紹介された。地域の人のために考える企画は、意外に外からも人を呼び込むことへの成功例につながっている。そんなアグレッシブな河津町商工会青年部は、30代の男性を中心に事業者や後継者で構成され、若者ならではの地域活性化事業を展開している。この集まりは、地元で異業種間の横のつながりを持つ貴重な機会だ。

職人への道～子ども職業体験イベント～

職業体験イベント「職人への道」は、小学生に仕事の体験を通して働く事の楽しさや大切さを実感し、町内にさまざまな業種や事業所があることを知ってもらおうと、夏休み最後の土曜日に小学生を対象に開催した。

講師はもちろん青年部員である職人だ。左官、電気工、



難しいカンナ掛け



コテを使って漆喰お絵かき

大工、設計デザインの4人の職人が、仕事の魅力を伝えるにはどうしたらよいか試行錯誤しながら子どもと向き合った。

左官業の長田さんは、「泥団子や漆喰で絵を描くのはどうか…それとも

コテで壁を塗ろうか？いやその前にコテ板に漆喰が乗らないんじゃないか…」と悩んだ。部員に相談するもダメ出しの連続に、「自分にとっては当たり前」の作業ができないこともあると知り、部員の知恵を借り子どもにとって最も良い方法を考えた。当日は、小さい板を地面に置いて自分で選んだ色をコテで塗る作業にした。小学生ができる範囲で、なおかつ左官に興味を持ってもらう内容にすることが一番苦心したそうだ。

電気屋の高橋さんは、配線工事が主な仕事だ。「配線体験はどうだろう？でも万が一感電したら大変だ！」「将来のことを考えたら電気屋さんでも接客や算数ができないと商売にならないことも伝えよう」など考えた。参加者の年齢に幅があることが体験内容を定めるうえで大変だったそうだ。

残り2つの職人体験では、大工仕事はカンナ掛けに挑戦。設計デザインは自分の部屋を設計した。

当日、幼稚園児から小学生まで34人が参加し、4つの職業を全部経験した。子どもたちの反応は上々である。真剣なまなざしで作業に取り組む姿は、まるで職人取り。「カンナくずって温かいんだね」「自由にできておもしろかったよ」「楽しかった。ありがとう」子どもたちの素直な感想がうれしい。気に入った仕事はあったかな？



建物に色を付けてみよう



どの体験にも、子どもたちは真剣な眼差しで取り組みました

## 地元職人として

後日、左官業の長田さんから「仕事の注文先に何うと玄関に参加者の作品が飾ってあった。左官の仕事は3Kで人気はないが、楽しかったと感想を聞いて嬉しいと思った。河津で商売をすることや左官職人として働くことに自信が持てた。イベント以来、町のあちこちで挨拶を交わすようになり、このつながりを大切にしていきたいと思う」とコメントをいただいた。

この企画は、働くことの楽しさや大切さの他に、町内にある事業所と住民とがつながることも狙いであり大成功である。商工会青年部が、こうした多彩な事業やイベント企画、河津桜の保全などに積極的に取り組み、地域の活性化に多大な貢献をしていることの要因として、「ふるさとへの愛着と元気で明るい仲間作りが伝統としてある」「自然を生かし、観光客をもてなしているのはやはり人である。彼らは地域の幸せを作り出し経済の原動力になっている」と取材を通して感じた。

◇代表：平馬宗季さん（問合せ・☎0558-34-0821）

【情報提供 飯田敏晶】



レポート・萩原佐枝子編集委員

## ■推進専門委員コラム

# コミュニティ・フォーラム：私的補足

合同会社デザイン・アープ代表 川口良子 氏



この誌面でも紹介されている、コミュニティ・フォーラム2014 (in藤枝)でのパネルディスカッションについて、私的な感想だが紹介したい。私も含めると30代から70代まで、それぞれの年代が揃ったパネルは、男女半々、立場も色々、まとめる作業には冷や汗をかいたが、多様性に富んだ人との議論は、多くの刺激やひらめきを与えてくれた。

### ～社会とのつながりが健康長寿の素～

老年医学の専門家、健康長寿財団理事長の佐古さん。健康長寿にとって大切な3本の柱は、運動・栄養・社会参加であり、そして、自助・自立が重要であることを指摘された。そもそも自己責任の側面が強い健康維持の問題を社会化し、取り組む上で“社会参加”が有効な切り口であることを確信できた。

40代勝保さん。麦塚青年会の活動を始めるきっかけは、地域に60歳になってからの居心地の良い居場所を、自分で準備しておこうと思ったことだという。紹介できなかったが、持続できるようビジネス的視点を取り入れたコミュニティ・レストランのプランが

出来ているとのこと。披露してもらえばよかった。

### ～多様な「人・こと・もの」とのお付き合い～

最若手の渡村さん。地域にある「人・こと・もの」の魅力を見える化し、組み立てることで新機軸の観光を開拓している。人との出会いを大切に、打ち解け、共に行動していく関係づくりをしていくスキルは見事。突然の質問にも、さらりと応じる臨機応変力が、その一端を表していた。地域活動のキーパーソンの資質と共通したものを感じた。

団塊世代の鍋倉さん。企業家、コミ推協会長等の公職、NPO活動といった多面的な活動に敬服する。“社会参加”の様々なバリエーションがそこにある。穏やかで落ち着いた雰囲気の中から垣間見える信念、根っこの部分にある原動力は何か？興味津々です。

再び佐古さん、友人の言として「年齢の離れた異性との付き合いが人を元気にする」と紹介。これは、多世代、異文化、異質なものとのかみしも交流が大切と解釈し、大いに同感した。

最後に、良き出会いに感謝です。

# まちから・むらから

●東伊豆町



女性3部合唱で聞かせます

## 歌声の輪で35年続く仲間 **稲取ベル・フィオーレ**

▼稲取ベル・フィオーレは、年齢・地域・障害の有無にかかわらず、歌声の輪によって仲間づくりを行っている団体である。

毎週水曜日、先生の指導の下、身体ほぐし・発声・パート練習後、全体合わせをして曲に取り組んでいる。

▼活動のきっかけは、会員の一人が退職を機に、知人らに声を掛けて立ち上げた。一時は、会員が3、4人と存続の危機もあったが、「悩みを吐き出し、元気をもらえる場をなくさないでほしい」という声を聞き、「やめるのは簡単。でも1人でも存続を望むなら続けよう」

と会のあり方を考え直した結果、「決して無理をせず！」を合言葉に強制参加の雰囲気をつくらない活動を続けている。また、練習だけでは会のコミュニケーションは図れないことから、月1回設けた練習後のお茶会は、笑いとお音が交る欠かせない息抜きの場となっている。

▼会員の入れ替わりはあるものの、現在25人。これまでに日中交流会やニュージーランドでの演奏会、創立20・30周年の発表会など大きなイベントも行ってきた。現在は6月の県東部合唱祭に向けて練習に励んでいる。私たちと一緒に歌ってくださる団員を募集中です！

◇代表：石渡由美子さん（問合せ・☎0557-95-0208）

【情報提供・鈴木邦夫】

●伊豆の国市

## 山の神講「二杯盛り」で元気に働く

**多田区自治会**

▼伊豆の国市多田地区の伝統行事である山の神講（山の神礼拝と二杯盛りの儀式）は、五穀豊穡の祈念とご飯を沢山食べしっかり働くための儀式だ。代々神職を務めた梅原家の祖先が、北条早雲から400町歩の山林を「まぐさ場」として与えられたことにより、村人が健康でよく働き、長生きをしたことにより400年余りに始めた行事といわれている。

▼まず床の間に祭られた大山氏神と天照大神に全員で拝礼した後、「ちらし」と呼ばれる夕食が始まる。神酒を酌み交わして座が盛り上がった頃「二杯盛りを始めます」の合図で2つの茶碗いっぱい盛られたご飯を1つに重ね、一斉に食べ始める。「ちらし」の後で更に2杯分を平らげるのは大変であるが、残すことは許されず全員が完食するまで座はお開きとならない。この

行事には、「腹が減っては戦が出来ぬ」としっかり働くには沢山食べて体力をつけるという教えがある。

▼大人だけの席であった山の神講も、時代の流れとともに変化し今では小学6年生が参加する。伝統行事を継承していくには、子どもも地域の一員として参加させることが大事である。

◇代表：長澤久夫さん（問合せ・☎055-949-0581）

【情報提供・小川昌年】



てんこ盛りの二杯盛りに挑戦

●島田市



魅力アイデア提案者の皆さん

## 地域の魅力発見アイデア競争 **金谷コミュニティ委員会**

▼住民の自主的な活動によって、明るく住みよいまちづくりを進めている金谷コミュニティ委員会は、25年9月にコミュニティビジネスのアイデアを学ぶ、コミュニティビジネスヒントセミナーを開催した。

▼その後「金谷魅力発見アイデア競争」と題して応募を募り1月15日に最終審査会を行った。町おこしや観光、イベントなど47件の応募作品を一次審査で7件に絞り、明るく熱気に包まれた雰囲気の中、提案者が最終プレゼンを行った。最優秀の杉本さんの提案は、諏訪原城址で

行なう戦国時代の仮装コンテスト、すべらず地蔵グッズの販売や、JRの廃線トンネルを利用したワインセラーなど地域資源を活用した取組みが評価された。

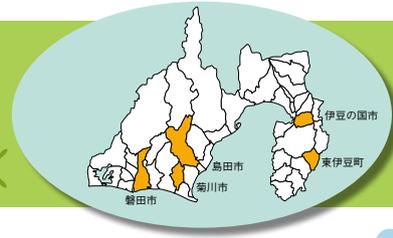
▼24年開催のコミュニティビジネスセミナーや、9月開催のコミュニティビジネスヒントセミナーで勉強した後の金谷魅力発見アイデア競争は、26年度にコミュニティビジネスを実施していくためのステップである。今後は、月1回の会合を行い実現に向けて検討される。

<http://www4.tokai.or.jp/kanaya/>

◇代表：望月一彦さん（問合せ・☎0547-45-3439）

【情報提供・鈴木久雄】

# 各地の活動情報



## ● 菊川市

### 茶巻き寿司に親も興奮！親子料理教室

### 河城地区生涯学習推進委員・社会教育委員

▼去る2月2日。菊川市河城地区では、親子が協力して料理作りをすることにより、距離が縮まり会話も弾む親子料理教室を開催した。加えて四季折々の食材を通して料理の楽しさを味わうとともに、技術の習得を図っている。

▼この料理教室には、小学生と保護者30人が参加した。お茶の花をかたどったのり巻き「茶巻き寿司」を考案した地元の農家の女性たちを講師に迎え、季節にあった恵方巻きの作り方を学んだ。講師の方々は、県の「ふじのくに農山漁村ときめき女性」の認定を受け、食育推進活動を行っている。

まずは、巻きすに慣れるため、キューリやソーセージなどの具材をちりばめた太巻きを作り、次に講師推奨の茶巻き寿司に挑戦。端を切ると可愛いお花が現れ大人も

子どもも感嘆の声を上げた。その後、今年の恵方である東北東を向いて皆で食べた。子どもたちは、自分で巻いた寿司をおいしそうに頬張った。

▼保護者からは「親子で作る料理は一段と楽しく、次も参加したい」「子どもがいつもより沢山食べた」「家庭でやってみる」などの声が聞こえた。

次回も、親子で楽しく学べる料理教室を開催する。

【情報提供・橋本哲夫】



口より大きい巻き寿司



各地の活動

## ● 磐田市

### 私たちは地域盛り上げ隊

### やまびこの会



仲間との食事会の1コマ

▼好奇心旺盛で、地域のために役立ちたい。そんな女性で結成されたやまびこの会。その名の通り、「呼べば応えてくれる会」と、地域では知られた存在である。始まりは20年前で、中学校のお母さんの会である婦人学級のOB会として新たに発足した。

▼やまびこの会の主な活動の一つに、「大藤ふるさとまつり」での豚汁づくりがある。さかのぼること15年程前、「豚汁」を振る舞ったらもっと「まつり」が賑やかになるのでは？ということからやまびこの会に白羽

の矢が立った。

前日3時間かけて下ごしらえし、具だくさんの豚汁500食を用意する。作り続けて15年、手慣れた作業で息もぴったり。今では大勢の人がやまびこの会の豚汁を楽しみにしている。

当日は豚汁だけでなく、売店の掛け持ちや高齢者接待係、舞台に出演する人など会員は大忙しである。

▼皆、それぞれの人生ではあるが、さまざまな局面を通過してきた仲間であり、常に励まし、教えあってきた。歳を重ね引退も考えるが、それでもやまびこの会がやってくれると地域の人たちに期待されているかぎり、「盛り上げ隊」としてこれからも活動を続ける。

◇代表：左口まち子さん（問合せ・☎0338-38-0981）

【情報提供・森岡たか子】

## 地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No	市 町	活 動 名	主 催 者	月 日	場 所
1	熱海市	島民の温かい愛情にすくすく育つ生徒たち ～県内唯一の離島 初島～	熱海市立初島小学校、中学校		初島全域
2	富士宮市	転倒防止・認知症予防レクリエーション	富士宮レクリエーション協会	平成26年2月16日(日) (毎年1回開催)	安藤記念ホール (富士宮市総合福祉会館内)
3	富士市	みんな笑顔で参加しよう！	ふれあいサロン会	毎月第4日曜日	幸町区公会堂
4	吉田町	コミカレ・ねっとわーく中部支部研修会	コミカレ・ねっとわーく吉田	平成25年11月16日(土)	吉田町中央公民館
5	菊川市	第8回黒田代官屋敷梅まつり	平川地区コミュニティ協議会	平成26年2月9日(日) (毎年1回開催)	黒田代官屋敷及び駐車場

地域訪問記

「高齢者サロン」 1日体験記

～楽しい時間は自分たちで作る～

ふれあいサロン (掛川市)

掛川市千浜(旧大東町)に地元住民が立ち上げた「ふれあいサロン」がある。ここはJR菊川駅からバスで30分ほどのところにある70戸、170人ほどの集落である。

このサロンは、平成11年に市社協の事業「生きがいディサービス」として始まった。当初、月3回開催されていたが、他地区とのバランスもあってか、2年後には月1回になってしまった。それでは寂しいと利用者から声が上がリ、それなら集まる場所を自らつくろうとコミカレ修了生でもある細川勝美さんが月3回の「ふれあいサロン」を立ち上げ、ボランティアの小島さんとサロンの切り盛りをしている。



それぞれ思い思いの時間を過ごします

衰えない向上心と家族だんらの雰囲気

2月27日のサロン開催日にお邪魔させていただいた。すでにみなさん折り紙のようなことをしている。この時期に合わせお雛様を折っているようだ。作業を続けてもらいながら話を伺った。

会では、必要な材料は自分たちでお金を出しあって購入するが、家にあるものは提供し、皆にも使ってもらう



色とりどりの作品

と言う。メンバーはそれぞれ得意なことを教え合いながら、各種複雑な折り紙細工や、ひょうたんに着せる編み物を制作する。その作品は、見た目にきれいなだけでなく、可愛らしさ、優しさが伝わってくる。

千浜会館祭りにはこれらを展示し、大いに喜ばれたという。また、良い作品を見つければそれをバラして勉強するという。大した向上心だ。

作業中〇〇ちゃんとお互い下の名で呼び合い、教え合う姿は姉妹のようだ。お昼は持ち寄ったおかずをみんなで分け合う。仲間と一緒にいただく食事はとてもおいしく、まさに家族だんらの雰囲気だ。

今も旬な 80 歳

午後はダンスを見せてもらった。「憧れのハワイ航路」

の音楽に乗って踊るさまは平均年齢80歳超とは思えない身の軽さだ。この会の卒業生は長思いしない方が多いとのことだが、「ピンピンコロリ」の秘訣はこの辺にあるのだろう。生き生きしたその眼は今も旬の輝きを放つ。

もったいない

要支援者対象の受け皿の一環として、15年続くこのサロンだが、悩みもある。各種施設による「ディサービス事業」の普及などもあり、一時期20人を超えていた利用者が、今は5人ほどになってしまったことだ。もったいない。こう見えても結構な運動量です施設に行くことに比べれば費用も安く、仲間と集える場所が提供されているのに・・・今後の更なる高齢化社会にとって、地域の元気な人が、お互いを見守りながら元気を続けていくことが必要なのではなかろうか。そんな“場”を立ち上げた細川さん、支える小島さんには頭が下がる。



ダンスの後、紙細工やプローチなどのお土産をいただいて会館を後にした。また、おかずを分けていただいたお昼や折り紙、手芸など楽しい時間を共有させていただき大満足。利用者以上に楽しませてもらった一日でもあった。・・・これからもお元気です!



ご近所の方、笑顔の仲間入りしてみませんか?

◇代表：細川勝美さん(問合せ・☎0537-72-4540)

【情報提供・永田稔男】



レポート・三戸部孝編集委員

地域訪問記



明るい声で呼び掛ける浜岡中学生

キラリ!コミねっと

コミカレ・ねっとわーく会員の活動紹介します!

## 地域の子どもは地域で育てる

コミカレ・ねっとわーく御前崎 (御前崎市)

御前崎市は平成16年4月1日、旧御前崎町と旧浜岡町が合併し生まれた。

会員数は69人。活動の内容は、浜岡砂丘のハマヒルガオを観察しながらの散策と清掃、ボランティア活動(募金活動)、コミュニティカレッジ修了者を迎える新会員歓迎会、会員の親睦も深める視察研修、会と地域の活動を紹介する情報誌「はまひるがお」の年2回の発行、毎月の運営委員会と、大変活発で多彩な活動を行っている。

### ハマヒルガオ観察と海岸散策、清掃

会では、毎年5月に市の花であるハマヒルガオなどの海岸植物の観察を行っており、当日は、ハマヒルガオの生態に詳しい会員から説明を聞きながら、各自用意した袋にゴミを拾い散策する。かつては、ハマヒルガオをはじめ沢山の海岸植物が繁殖していたが、近年、砂丘の後退、減少により生態系も変わってきている。

今後は、市民、会員と一緒に考え行動し、ハマヒルガオなどの保護活動につなげていきたい。

### ユニセフ募金活動

募金活動は、平成13年コミねっと浜岡の総会で提案され始まった。その後、明るい社会づくり運動と共同して活動し、現在に至っている。

地域の方々への声掛けや、人の善意を肌で感じる活動が体験できることは良いことだと学校も応援してくれている。

### 地域とのつながりを大切に

会員は、地域の複数の活動団体に所属している人が多い。そのため、皆の日程を調整しながら行事日程を組むことは大変である。そんな意欲的な活動をしている人の集まり御前崎の会。今後もそれぞれの所属団体に活動しながら、コミねっと御前崎での交流と活動も大切に継続していく。



美しい海岸を後世に

## コミュニティ・フォーラム 2014 を開催しました。

### 健康長寿日本一とコミュニティ活動

- 2014年2月15日(土)  
午前10時30分～午後3時30分
- 藤枝市生涯学習センター・ホール

コミュニティ・フォーラム2014では、平成24年6月に公表された健康寿命で総合日本一となった静岡県の元気力と、県内各地で繰り広げられているコミュニティ活動の関係を考えたいと「健康長寿日本一とコミュニティ活動」をテーマに開催。前日の大雪の影響でやむを得ず欠席された方もいましたが、県内各地から約350人の参加により盛大に開催しました。

演を行っていただいた。「殻の中に閉じこもらないように常に前向きに社会の中に入っていくといけない」「分かりやすく、明るい前向きなお話で元気をもらった」など好評だった。



巧みな話術に引き込まれました

### 健康長寿で生き生きとした社会へ

パネルディスカッションでは、本紙コラムを執筆されている川口良子氏をコーディネーターに、各年代、異なった立場で社会参加をしている方々をパネリストに、健康長寿と社会参加の繋がりについて議論が行われた。また、合間には、静岡県リズムムーブメント研究会会長、矢崎氏による健康長寿体操「すこやかエブリデー」で、楽しく体を動かした。



身体を動かし、ブレイクタイム



賞楯と記念品を授与

### 基調講演「社会参加で健康長寿」

午前の部は、表彰式の後、伊豆の国市在住で女優の藤田弓子氏に「社会参加で健康長寿」と題した講

コミねっとから

コミ推協から



## 地域活動に関心のある方へ!

### コミュニティカレッジ開催します

住みよい地域づくりを目指したコミュニティ活動を展開していく上で、リーダーの果たす役割は極めて大切です。

当協議会では、コミュニティリーダーを養成するため、昭和55年度からコミュニティカレッジを毎年開催しています。今年度の開催は次のように予定しています。地域で活動されている方や地域活動に関心のある方はぜひ御参加ください。

なお、申込方法等の詳細につきましては、関係機関等を通じて別途改めて御案内します。

御不明な点は、当協議会にお問い合わせください。

回数	月 日	テーマと時間		会 場
		10:00~12:00	13:00~15:00	
1	7月26日(土)	・開講式 ・自己紹介/アイスブレイク	講義「コミュニティづくり」	県総合社会福祉会館 (静岡市葵区)
2	8月9日(土)	講義「コミュニティリーダー」	講義「話し合いの進め方」	
3	8月中	活動集団現地訪問(県内3カ所選定)		1カ所に参加
4	9月13日(土)	ワークショップ「コミュニティ実施計画づくり」		県総合社会福祉会館
5	9月20日(土)	10:00~11:30	11:30~12:00	
		基調講演「未定」	閉講式	

## 地域の活動応援します

### コミュニティ活動集団育成事業まもなく募集開始

#### 趣 旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ。

**指定の期間** 毎年度4月から翌年度3月までの2年間とします。

**活動経費の助成** 募集集団数15集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。

**活動集団の指定** 申込みに対してその内容を検討し、指定します。

### 編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会  
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70  
総合社会福祉会館3階  
TEL 054-251-3585  
FAX 054-250-8681  
URL <http://www.sizcom.jp>  
E-mail [sizucom0829@po.across.or.jp](mailto:sizucom0829@po.across.or.jp)  
※地域情報お寄せ下さい。

## 安心して活動するためにスポーツ安全保険にはいりませんか!!

**傷害保険**  
急激で偶発的な外傷の事故により被った傷害による死亡、後遺障害、入院、手術、通院を補償  
  
※熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒も対象となります。ただし、AW区分で加入していても「団体活動中およびその往復中」以外では対象となりません。

**賠償責任保険**  
他人にケガをさせたり、他人の物を壊したることにより、法律上の損害賠償責任を負うことよって被った損害を補償

**突然死葬祭費用保険**  
突然死(急性心不全、脳内出血などによる死亡)に際し、親族が負担した葬祭費用を補償  
  
※AW区分で加入していても「団体活動中およびその往復中」以外の突然死は対象となりません。

### 平成26年度加入受付中

5人以上のグループでご加入ください

【掛 金】子ども・大人:1人800円から(年額)  
【保険期間】毎年4月1日から翌年3月31日まで

(公財)スポーツ安全協会静岡県支部  
TEL 054-2626-3039